



## 1.介護という仕事の全てを知ってほしい ～発信強化プロジェクト立ち上げ目的～

プロジェクト設置のきっかけは、事業責任者コメントのとおり、介護という仕事について「**社会・地域の人々に理解してもらい**」「**信頼関係を築き**」「**最終的にファンになってもらう**」ためのコミュニケーション活動です。

そのためには、まず「**知ってもらう努力**」が必要であり、それを可視化し、実行すること、そして発信し続けることだと思います。「介護という仕事」を、そして「**らいふ**」を世の中に、**地域に積極的に発信し、介護の大切さ・大変さを伝えつつ、興味を持った・共感した、働いてみようかな、入居を検討してみようかな、応援したくなった、と一人でも思ってもらえるよう腐心して参ります。**

「介護という仕事の全てを知ってほしい」このプロジェクトのミッションはこの一点です。本チームメンバーを中心として、弊社の全スタッフから皆様に「介護という仕事」について様々な生の情報・ヒントをお届けして参ります。必ずや、お役に立てるものと確信しています。

### プロジェクトメンバー

- (1)施設長
  - らいふ指扇
  - らいふ清瀬
  - らいふ経堂
  - らいふ中板橋
  - らいふたまプラーザ
  - らいふグリーンテラス・茅ヶ崎
- (2)主任
  - らいふ指扇
  - らいふ川越
  - らいふ大和
  - らいふ小田原
  - らいふ愛甲石田
  - らいふ高田馬場
- (3)本社スタッフ
  - 入社2年目・3年目 スタッフ

## 3-1.やりがいを感じたこと

### I.十人十色のご入居者様対応

様帰宅願望の強い女性のご入居者が、帰宅願望の気持ちを少しでも忘れ、ケアコンシェルジュと会話をしながら楽しんで過ごしている姿や、レクリエーションや新生活イベントへの参加をして他のご入居者や職員と笑顔で会話をしている姿、毎食のお食事を「美味しい。」ととても穏やかに召上がり幸せそうな安心された表情を見せて下さった時にやりがいを感じます。(続きは当社ホームページに掲載しています)

### II.ご家族様からのお言葉

5月に入居されたB様、食事について入居担当者より食事の契約なしという申し送りがありました。詳細を確認すると、1年前程前より布団からあまり出てこなくなり、自分が好きな時間に起きてきては、同居の長女様が用意したフレンチトーストやヨーグルト・栄養補助飲料を1日に2度、少しの量を召し上がるという生活になっているとのことでした。入居当日に長女様とお話した中で「私が作ったものしか食べません。日に2度自宅から持ってきます、近いですから」とありました。入居から数日、B様は居室から一切出て来ずほぼ寝たきりとなっていました。(続きは当社ホームページに掲載しています)

全文は(株)らいふ公式ホームページよりご覧頂けます。QRコード、もしくはURLよりご覧ください。

[https://www.life-silver.com/life\\_effort/care\\_work/](https://www.life-silver.com/life_effort/care_work/)



▲ホームステーションらいふ小田原 介護主任



▲ホームステーションらいふ町田 施設長

## 3-2.介護現場で苦勞したこと

### I.ご入居者様の立場に立つ大切さ

高次脳機能障害で、はっきりと話せないご入居者がいらっしゃいます。そのご入居者の話されるお話の内容は、奥様やベテランの介護職員ですと理解できるのですが、私は、情けないことにごく稀にしかお話の内容を理解することが出来ておりません。何かを伝えようとされていていらっしゃることは十分に分かるので、どうか理解しようと努力をしていますが、未だ力になることができず、残念でなりません。(続きは当社ホームページに掲載しています)

### II.初めての介護現場

私は介護未経験者で6ヶ月前に入社しました。ちょうど入社2週間目のことです。夜勤に入り、ご入居者様の排泄介助を実施した時のことです。ご入居者様の状態は、要介護5で、お食事から排泄まですべて介助が必要な方で、普段からしゃべることも出来ず、体を動かすことも出来ない方です。お食事については、看護師が対応して流動食を召し上がられています。(続きは当社ホームページに掲載しています)

全文は(株)らいふ公式ホームページよりご覧頂けます。QRコード、もしくはURLよりご覧ください。

[https://www.life-silver.com/life\\_effort/care\\_work/](https://www.life-silver.com/life_effort/care_work/)



▲ホームステーションらいふ川越 施設長



▲ホームステーションらいふ中板橋 施設長

## 2.ホームページ閲覧方法ご案内

弊社ホームページにて、職員が感じた**やりがい、苦勞したこと**の経験談をご紹介します。閲覧方法を下記にて、ご案内致します。是非、ご覧ください。随時更新して参りますので、お楽しみに!

### ①パソコンからの操作方法

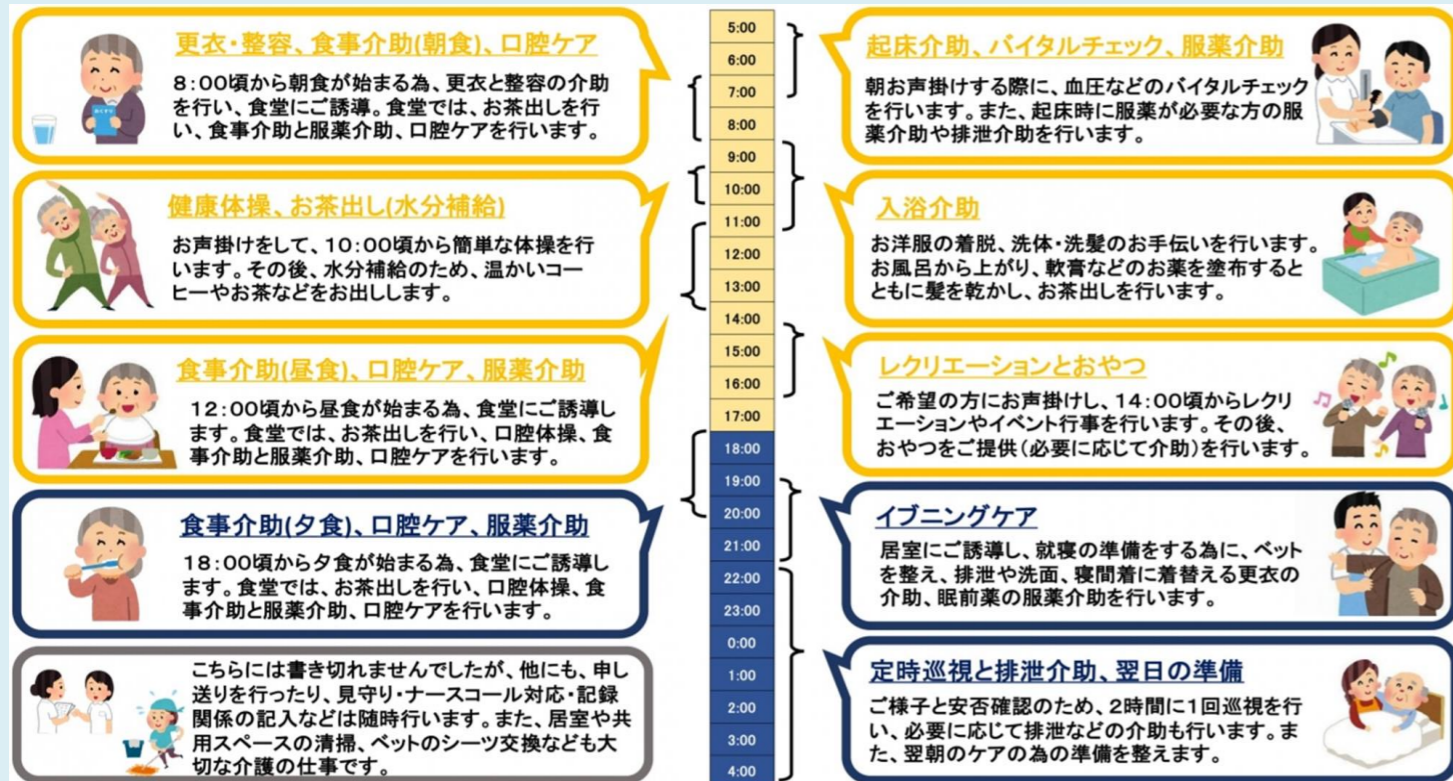


### ②携帯電話からの操作方法



## 4.介護職の一日の流れをご紹介します！

毎日のお食事は施設にある食堂で皆様が集まって食事を召し上がります。他にも、健康体操やレクリエーション、入浴等も同じ時間帯に実施することが多いです。介護職員がご入居者のお手伝い、つまりケアサービスをご提供させて頂く際、今後、どのような流れで行っているのかを場面ごとに紹介していきます。



▲介護の一日の流れ

## 5.ご入居者座談会開催致しました(らいふ小平)

2020年1月25日(土)に、「2020年1月度 ご入居者座談会」を開催致しました。今回は、「ホームステーションらいふ小平」のご入居者様3名をお招きし、施設管理者と座談会を開催しました。新任の管理者に対して人生の大先輩より、アドバイスをいただきました。

### ご参加頂いたご入居者様



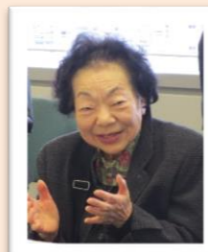
A 様 (仮称) 71歳

職員が笑顔で接してくれ、毎日充実しているそうです。管理者に対し、夢中になれることができるといふアドバイスを受けました。



B 様 (仮称) 88歳

長生きの秘訣は、早寝早起きをして、太陽が昇ってくる時間に起きて光を浴びること。転倒してしまった時の施設長の迅速な対応に感謝のお言葉をいただきました。



C 様 (仮称) 88歳

長生きの秘訣は、健康に気をつけて行動すること。施設職員に対して感謝のお言葉を数多く頂きました。表情豊かにお話になる様子から私達も元気をいただきました。



▲参加者全員で記念撮影



▲本社から都内の景色を堪能



▲座談会の様子



## 6.介護現場で働く社員インタビュー

### ホームステーションらいふ愛甲石田 介護職 主任

主任はらいふに入社して4年目になられますが、介護業界で働こうと思った理由を教えてください。

特に明確な理由や目標があって介護業界に足を踏み入れたわけではありません。なんとなく、「これからも存続する、成長する業界」だと思い、介護業界に決めました。したがって介護について特段の思い入れがあったわけではないので、はじめのうちは慣れないことに苦しむ場面もありました。ところが、**次第に介護という仕事が面白くなり、今では働きながら自分も楽しめるようになりました。**



仕事が面白くなったとおっしゃいましたが、主任が思う、介護という仕事の魅力とは何でしょうか。

介護の仕事をしていると、必ず「人の死」に直面します。私自身も、ご入居者様の最期に何度も立ち会ってきました。その時に、「この方はどういう人生を送られてきたのだろうか」「ここ(施設)で最期を迎えられたことは、この方にとって良かったのだろうか」などと考えます。さらに、自分自身の人生にも置き換え、「自分はこういう生き方をして、どういう最期を迎えたいだろうか」と想像します。このように、**ただ介護サービスをご提供するのではなく、自分の人生に置き換えて物事を見ることが出来るのは魅力の一つだと考えます。**

何十年後の自分の姿と重ねることは、介護経験者ならではのかもしれませんが、「司塾」とはなんですか？

「司塾」とは、当社の事業責任者の小林取締役が講師を務める研修のことで、塾名は小林取締役のお名前に由来します。月に1度、若手社員を対象に行われます。内容は主に、一般常識やマナーについてなどがあげられ、ペンの持ち方やビジネスメールの作成など、社会人としてのスキルアップを目標としています。また、技術的なことだけではなく、物事の考え方、社会の見方なども教えて頂けるため、人間力の向上も見られます。私は「司塾」への参加をきっかけに、仕事にたいし、ただ介護をするだけという認識から、施設で働きながらも会社全体のことを常に意識し、会社として目指していくものを意識しながら仕事をするようになりました。



社会人としての素養を伸ばすことが出来る「司塾」、とても興味深いですね。最後に、これから介護事業で働こうと思っている方へ向けてメッセージをお願いします！



ぜひ情熱は強く持っていただきたいですね。**たとえ困難が立ちは大かっても、それを乗り越えて自分は介護の道を頑張るという情熱さえ持っておけば、その思いが自身の胆力になります。**一つのことをやり続ける力、それこそがこの仕事をする上で欠かせない力だと認識していますので、これから志望される皆様にはぜひ胆力を持ち、頑張ってくださいと思います。